

令和2年壱岐市議会定例会4月会議 会議録目次

審議期間日程	1
上程案件及び議決結果一覧	1
第1日（4月17日 金曜日）	
議事日程表（第1号）	3
出席議員及び説明のために出席した者	3
再開（開議）	4
議席の一部変更及び補欠選挙により当選した議員の議席の指定について	5
会議録署名議員の指名	6
審議期間の決定	6
諸般の報告	6
発言の申し出（市長の報告）	6
常任委員会委員の選任について	8
議会広報特別委員会委員の選任について	8
議案の審議（説明、質疑、委員会付託省略、討論、採決）	
議案第29号 令和2年度壱岐市一般会計補正予算（第1号）	8
散会	31
資料	
壱岐市議会委員会委員選任名簿	33

令和2年壱岐市議会定例会4月会議を、次のとおり開催します。

令和2年4月13日

壱岐市議会議長 豊坂 敏文

- 1 期 日 令和2年4月17日（金）
- 2 場 所 壱岐市議会議場（壱岐西部開発総合センター2F）

令和2年壱岐市議会定例会4月会議 審議期間日程

日次	月 日	曜日	会議の種類	摘 要
1	4月17日	金	本会議 (10:00~)	○再開 ○審議期間の決定 ○議案審議 (質疑、委員会付託省略、討論、採決) ○散会 ○会議録署名議員の指名 ○議案の上程、説明

令和2年壱岐市議会定例会4月会議 上程案件及び議決結果一覧

番 号	件 名	結 果	
		審査付託	本会議
	議席の一部変更及び補欠選挙により当選した議員の議席の指定について	—	資料のとおり決定
	常任委員会委員の選任について	—	資料のとおり決定
	議会広報特別委員会委員の選任について	—	資料のとおり決定
議案第29号	令和2年度壱岐市一般会計補正予算（第1号）	省 略	原案のとおり可決 (4/17)

令和2年 老 岐 市 議 会 定 例 会 4 月 会 議 会 議 録 (第1日)

議事日程 (第1号)

令和2年4月17日 午前10時00分開議

日程第1	議席の一部変更及び補欠選挙により当選した議員の議席の指定について	報告済
日程第2	会議録署名議員の指名	9番 小金丸益明 10番 町田 正一
日程第3	審議期間の決定	1日間 決定
日程第4	諸般の報告	議長 報告
日程第5	常任委員会委員の選任について	報告済
日程第6	議会広報特別委員会委員の選任について	報告済
日程第7	議案第29号 令和2年度老岐市一般会計補正予算 (第1号)	財政課長、企画振興部長、市長説明、質疑あり、討論なし、委員会付託省略、可決

本日の会議に付した事件

(議事日程第1号に同じ)

出席議員 (16名)

1番 中原 正博君	2番 山川 忠久君
3番 山内 豊君	4番 植村 圭司君
5番 清水 修君	6番 土谷 勇二君
7番 久保田恒憲君	8番 音嶋 正吾君
9番 小金丸益明君	10番 町田 正一君
11番 鵜瀬 和博君	12番 中田 恭一君
13番 市山 繁君	14番 牧永 護君
15番 赤木 貴尚君	16番 豊坂 敏文君

欠席議員 (なし)

欠 員 (なし)

事務局出席職員職氏名

事務局長 吉井 弘二君 事務局次長 村田 靖君
事務局係長 折田 浩章君

説明のため出席した者の職氏名

市長 …………… 白川 博一君 副市長 …………… 眞鍋 陽晃君
教育長 …………… 久保田良和君 総務部長 …………… 久間 博喜君
企画振興部長 …………… 本田 政明君 市民部長 …………… 石尾 正彦君
保健環境部長 …………… 崎川 敏春君 建設部長 …………… 増田 誠君
農林水産部長 …………… 谷口 実君 教育次長 …………… 西原 辰也君
消防本部消防長 …………… 山川 康君 総務課長 …………… 中上 良二君
財政課長 …………… 松尾 勝則君 会計管理者 …………… 松本 俊幸君

午前10時00分開議

○議長（豊坂 敏文君） 皆さん、おはようございます。

開会に先立ちまして、新型コロナウイルス感染症に罹患された患者の皆様と御家族及び関係者の皆様にお見舞いを申し上げると同時に亡くなられた方々に心より御冥福をお祈り申し上げます。また、新型コロナウイルス感染拡大防止に最前線で対応されている医療や福祉関係者の皆様へ心から感謝を申し上げます。

市議会といたしましても、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、市民の皆様の安全・安心確保のため、市当局と力を合わせて全力で取り組んでまいります。

また、このたびの市長選挙において当選されました白川市長並びに市議会議員補欠選挙において当選されました中原議員には心よりお祝いを申し上げます。御健康に留意され御活躍されますことを御祈念申し上げます。会議に入る前に、あらかじめ報告します。壱岐新聞社ほか3名の方から報道取材のため、撮影機材等の使用の申し出があり、許可をいたしております。

ただいまの出席議員は16名であり、定足数に達しております。

ただいまから、令和2年壱岐市議会定例会4月会議を開きます。

議事に入る前に職員の紹介の申し出がっておりますので、これを許します。眞鍋副市長。

○副市長（眞鍋 陽晃君） おはようございます。それでは、私のほうから4月1日付人事異動に伴い、関係する議会出席職員の紹介をさせていただきます。

まず、保健環境部長兼芦辺支所長の崎川敏春でございます。

- 保健環境部長（崎川 敏春君） 皆さんよろしくお願いいたします。
- 副市長（眞鍋 陽晃君） 次に、建設部長兼勝本支所長の増田誠でございます。
- 建設部長（増田 誠君） 増田です。皆さん、よろしくお願います。
- 副市長（眞鍋 陽晃君） 次に、教育委員会教育次長の西原辰也でございます。
- 教育次長（西原 辰也君） 西原です。どうぞよろしくお願いいたします。
- 副市長（眞鍋 陽晃君） 次に、消防本部消防長の山川康でございます。
- 消防長（山川 康君） どうぞよろしくお願います。
- 副市長（眞鍋 陽晃君） 以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 議長（豊坂 敏文君） 議会事務局の職員も異動がっておりますので、紹介をいたします。吉井事務局長でございます。
- 事務局長（吉井 弘二君） 吉井です。どうぞよろしくお願いいたします。
- 議長（豊坂 敏文君） これより、本日の会議を開きます。

日程第1. 議席の一部変更及び補欠選挙により当選した議員の議席の指定について

- 議長（豊坂 敏文君） 日程第1、議席の一部変更及び補欠選挙によりまして、当選した議員の議席の指定についてを議題とします。

このたびの市議会議員補欠選挙にて当選されました議員の議席について、苓崎市議会会議規則第4条の規定により、議席の変更及び指定を行うものであります。

その議席番号と氏名を事務局長に朗読させます。吉井事務局長。

- 事務局長（吉井 弘二君） それでは、読み上げさせていただきます。

1番、山川忠久議員を2番に、2番、山内豊議員を3番に、3番、植村圭司議員を4番に、4番、清水修議員を5番に、5番、土谷勇二議員を6番に、6番、久保田恒憲議員を7番に、7番、音嶋正吾議員を8番に、それぞれ変更するものであります。

以上であります。

- 議長（豊坂 敏文君） ただいま事務局長が朗読したとおり、現職議員の議席を変更することにしたと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（豊坂 敏文君） 異議なしと認めます。よって、ただいま朗読したとおり、議席を変更いたします。

次に、補欠選挙による当選議員、中原正博議員を1番に指定いたします。ここで1番、中原正博議員より自席にて御挨拶をお願いします。中原議員。

○議員（1番 中原 正博君） 皆さん、おはようございます。今回の市議会議員補欠選挙によりまして、当選をさせていただきました勝本の浦部出身の中原正博です。皆様とともに壱岐市のため市民のために頑張りたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。（拍手）

日程第2. 会議録署名議員の指名

○議長（豊坂 敏文君） 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、9番、小金丸益明議員、10番、町田正一議員を指名いたします。

日程第3. 審議期間の決定

○議長（豊坂 敏文君） 日程第3、審議期間の決定についてを議題とします。

お諮りします。4月会議の審議期間は、本日一日としたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（豊坂 敏文君） 異議なしと認めます。よって、4月会議の審議期間は、本日一日と決定しました。

日程第4. 諸般の報告

○議長（豊坂 敏文君） 日程第4、諸般の報告を行います。

令和2年壱岐市議会定例会4月会議に提出され、受理した議案等は1件であります。

次に、監査委員より例月出納検査及び定期監査（後期）の報告書が提出されており、その写しをタブレットに配信しておりますので、御高覧をお願いします。

次に、令和2年3月27日長崎市において開催された「長崎県病院企業団議会令和2年第1回定例会」に市山繁議員と久保田恒憲議員が出席をされております。

詳しい資料につきましては、事務局に保管いたしておりますので、必要な方は御高覧をお願いします。

今定例会4月会議において、議案等の説明のため、白川市長をはじめ、教育委員会教育長に説明員として出席を要請しておりますので、御了承願います。

以上で、私からの報告を終わります。

ここで、白川市長より発言の申し出がっておりますので、これを許します。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

○市長（白川 博一君） おはようございます。令和2年壱岐市議会定例会4月会議の開催にあたり、御挨拶を申し上げます。

4月12日執行の市長選挙におきまして、市民皆様の御信託をいただき、4期目となる市政を引き続き担当させていただくことになりました。市民皆様の温かい御支援と御理解に衷心より厚く御礼を申し上げます。

今回の選挙に当たり、「すべての産業振興に全力 壱岐の未来へ必死」をスローガンに掲げ、市民皆様に私の思いを訴えさせていただきました。市制施行以来さまざまな分野において、壱岐市は振興発展、進化を遂げてまいりましたが、一部の大都市を除き、全国地方自治体共通の課題となっている人口減少、少子高齢化をはじめ、有人国境離島法の施行、SDGs 未来都市に係る取り組みなど、本市を取り巻く状況はめまぐるしく変化をしております。

こうした進化と変化を恐れない柔軟で強靱な地域づくりを念頭に、先ほど申し上げました全ての産業振興に全力を持って取り組み、壱岐の未来を思い、将来にわたって誰一人取り残さない持続可能な地域社会を市民皆様とともに築いてまいります。

今後も議員各位をはじめ、市民皆様と心をつなげた市政運営に全力で取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力、市政への参画をお願い申し上げます。

さて、今、最も日本全国、そして壱岐市が直面しているのは、新型コロナウイルス感染症に係る事項でございます。昨日、政府が方針決定されましたとおり、緊急事態宣言の対象地域を全国都道府県に拡大することになりました。それを受け、本日午前11時30分からは長崎県知事と県内各市長、町長とのテレビ会議が予定されております。

壱岐市の状況につきましては、皆様、御承知のとおり、本年3月14日に1人目の感染者が確認されて以降、現在まで6名の感染者が確認されております。感染者の皆様は既に退院された方もいらっしゃいますが、現在、適切な管理のもと、治療が行われております。また、壱岐保健所による濃厚接触者の健康観察が行われておりまして、現在まで感染が確認された方はおりません。これにより、本日4月17日をもって全ての方の2週間の健康監察が終了するため、今回の本市における新型コロナウイルス感染症発症事例は、一段落したものと認識をいたしております。

市民皆様には、感染への不安だけでなく事業や仕事、日々の生活のあらゆる面で御心配をおかけしておりますが、皆様の御協力と関係機関の御尽力によりまして、新たな感染者が発生していないことに対し、感謝を申し上げる次第でございます。

また、みずからの危険を顧みず、日々対応にあたられている医療関係従事者並びに感染防止に御尽力いただいている介護福祉現場の皆様には、心から敬意と感謝を申し上げます。

一方で、このたびのコロナウイルス禍によりまして、壱岐市の経済は宿泊、飲食、貸切バス、土産品を中心に大打撃を受けております。一刻の猶予もできませんので本日4月会議を開催いただき、緊急経済対策予算を上程することといたしました。

本日提出しております案件は、令和2年度一般会計補正予算に係る案件1件であります。何とぞ十分な御審議をいただき、適正なる御判断を賜りますようお願い申し上げ、開会に際しての御挨拶といたします。どうぞよろしく願いいたします。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

日程第5. 常任委員会委員の選任について

○議長（豊坂 敏文君） 次に、日程第5、常任委員会委員の選任についてを議題とします。

このたびの補欠選挙で当選されました1名の常任委員会委員の選任であります。委員会条例第8条第1項の規定により、1番、中原正博議員を総務文教厚生常任委員会委員に指名したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（豊坂 敏文君） 異議なしと認めます。よって、1番、中原正博議員を総務文教厚生常任委員会委員に選任することに決定いたしました。

日程第6. 議会広報特別委員会委員の選任について

○議長（豊坂 敏文君） 日程第6、議会広報特別委員会委員の選任についてを議題とします。

同じく、委員会条例第8条第1項の規定により、1番、中原正博議員を議会広報特別委員会委員に指名したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（豊坂 敏文君） 異議なしと認めます。よって、1番、中原正博議員を議会広報特別委員会委員に選任することに決定いたしました。

日程第7. 議案第29号

○議長（豊坂 敏文君） 次に、日程第7、議案第29号令和2年度壱岐市一般会計補正予算（第1号）を議題とします。

提出議案の説明を求めます。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

○市長（白川 博一君） 本議案につきましては、財政課長の予算案説明のあと、企画振興部長が取り組み内容を御説明申し上げ、その後、私が提案に至った理由を申し上げたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

○議長（豊坂 敏文君） 松尾財政課長。

〔財政課長（松尾 勝則君） 登壇〕

○財政課長（松尾 勝則君） 議案第29号令和2年度壱岐市一般会計補正予算（第1号）について御説明申し上げます。

令和2年度壱岐市の一般会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4,700万円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ237億8,700万円とします。

第2項は、記載のとおりでございます。本日の提出でございます。

2から3ページをお開き願います。

第1表、歳入歳出予算補正の款項の区分の補正額等については、記載のとおりでございます。それでは事項別明細書により内容を御説明いたします。

今回の補正は、新型コロナウイルスの市内における感染拡大に伴い、飲食業や宿泊業等が大きな影響を受ける中、島内消費を喚起し、雇用や事業の継続に資するための緊急経済対策として、プレミアム商品券の発行事業に対する助成等について補正を行うものでございます。

まず、歳入について説明をいたします。8から9ページをお開き願います。

14款2項1目総務費国庫補助金で、今回の緊急経済対策事業の財源として、国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億4,700万円を計上しております。

歳出につきましては、別紙、資料1の令和2年度4月補正予算（案）概要の主要事業で御説明いたします。

2から3ページをお開き願います。

2款1項14目新型コロナウイルス感染症対応事業費で、観光基盤維持緊急支援事業補助金は、市内宿泊施設の利用促進のため島民が宿泊する費用の半額について、宿泊事業者へ直接補助を行うものとして1,000万円、市内の外出自粛が緩和された時期における貸切バスの利用促進のため、市民向けの島内周遊バスツアーの企画運営に対する補助として2,000万円、その他事務経費125万円を含めまして3,125万円を計上しております。

次に、プレミアム商品券発行事業補助金は、市内飲食店、宿泊施設での使用に限定したプレミアム商品券の発行事業に対する補助として1億1,460万円、また緊急雇用維持アドバイザー事業補助金は、国の雇用調整助成金制度の特例措置に係る事業主の申請手続きに対し、社会保険労務士等による支援を行う事業への補助として115万円と総額で1億4,700万円を計上しております。

以上で、議案第29号令和2年度壱岐市一般会計補正予算（第1号）について説明を終わります。御審議のほどよろしく願いいたします。

〔財政課長（松尾 勝則君） 降壇〕

○議長（豊坂 敏文君） 本田企画振興部長。

〔企画振興部長（本田 政明君） 登壇〕

○企画振興部長（本田 政明君） 今回の補正予算、新型コロナウイルス感染拡大に伴う壱岐市緊急経済対策事業について御説明をいたします。

会議資料の2をお開きください。

新型コロナウイルス感染拡大は、外出自粛等の影響により地域の多様な産業に被害を与えており、特に、壱岐市においては飲食業、観光業において甚大な被害を受けています。

まずは、感染拡大防止策を徹底しつつ、雇用の維持と事業の継続のため感染終息状況を注視し、状況に応じて段階的に緊急経済対策事業を実施し、本市経済の回復に努めたいと考えております。

今回は、4事業について補正予算総額1億4,700万円を計上しております。

1つ目として、壱岐市プレミアム商品券発行事業、補正予算額1億1,460万円でございます。これは、飲食店、宿泊施設での飲食サービスに特化したプレミアム商品券の発行事業でございます。発行総額3億5,500万円、第1回発行分は、プレミアム率60%、第2回発行分は40%でございます。

2つ目として、緊急雇用維持アドバイザー事業、補正予算額115万円でございます。これは、雇用調整助成金の特例措置等の申請を行う中小企業に対するサポート体制の構築事業でございます。

3つ目として、市内宿泊施設利用促進事業、補正予算額1,000万円でございます。島外からの誘客が困難な状況のため、市内宿泊施設への市民利用の促進事業として、宿泊費の半額50%を補助する事業でございます。

4つ目として、市内観光バス団体受入施設等支援事業、補正予算額2,125万円でございます。市民向けの島内周遊バスツアー商品を造成し、安価で市民に利用してもらうことによって団体ツアーのキャンセルにより影響を受けている事業者を支援する事業で、1人当たり1,000円の負担で利用できるサービスでございます。

次に、各事業の詳細を御説明いたします。3ページをお開きください。

令和2年度壱岐市プレミアム商品券発行事業補助金でございます。

事業内容でございますが、壱岐市内の飲食店、宿泊施設で利用できるプレミアム商品券を発行し、市民の消費意欲向上及び島内消費の拡大に資することで、緊急経済対策の意義に沿う事業を実施いたします。ただし、本商品におきましては、飲食店、宿泊施設での飲食サービス、または食品のテイクアウトのほか、店舗が販売する回数券も購入可能としております。

プレミアム率は、第1回発行分は60%で、1セット当たり8,000円分の商品券を5,000円で5,000セット販売し、1人当たり4セットまで購入可能です。

第2回発行分は40%で、1セット当たり7,000円分の商品券を5,000円で、4万5,000セット販売し、1人5セットまで購入可能としております。

販売時期、利用期限につきましては、昨日の緊急事態宣言を受け、再検討しているところでございます。発行元販売窓口は、壱岐市商工会でございます。

本事業の特徴でございますが、今回のプレミアム商品券は新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きい飲食業、宿泊業に特化して行うこととしており、具体的には、店内で飲食を行うことを主とした形態の店舗、または宿泊施設でございまして、食堂、レストラン、居酒屋、ホテル、旅館、民宿、ペンション、簡易宿舎を対象としております。ただし、持ち帰り専門店、または小売事業を主とする店舗は対象外としております。

また、第2回発行分につきましては、国の施策に呼応して、また状況を鑑みて変更する場合もございます。

次に、緊急雇用維持アドバイザー事業でございます。

事業内容といたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、雇用調整助成金の特例措置等の申請を行う中小企業等に対し、社会保険労務士等による申請手続きの支援を行う事業でございます。社会保険労務士を3回招聘し説明会、相談等を実施し、その申請の支援を実施する事業でございます。

次に、5ページをお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大により、本市の主要産業である観光業、特に、宿泊事業者、貸切バス事業者においては、過去に例を見ない危機的状況に陥っております。観光基盤を維持することが喫緊の課題と捉えており、状況に応じて段階的な支援を実施することとしております。今回の補正予算では、第一段階、第二段階の事業を計上しているところでございます。

6ページをお開きください。

市内宿泊施設利用促進事業でございます。

宿泊施設のキャンセル数が調査結果で1万1,000人泊を超えて危機的状況であることから、最優先に支援策を取り組みたいと考えております。

第一段階として、島外からの誘客を打ち出せないことから、不特定の接触を避けつつ市民の利用を促進し、島内経済循環を図ることで観光基盤である宿泊施設を維持させることを目的としております。

市民の皆様におかれましては、ゴールデンウィークなど家族旅行もできない状況でございますので、まずは家族単位で島内宿泊施設にお泊りいただき、状況に応じ、職場、友人同士などの団体での活用をお願いしたいと考えております。地元の宿泊施設に泊まることにより、旅行者気分で壱岐の魅力を再発見していただければと考えております。

事業内容として、1泊2食付きプランを柱として、半額50%を補助することとしており、2名以上の利用としております。実施期間は、5月1日から7月末までの3カ月を予定していましたが、昨日の緊急事態宣言を受け、開始時期等を含め、変更せざるを得ないと考えております。

宿泊施設の状態により、AからDランクに区分し、その取り組みに参画していただける宿泊事業者を募集する形としております。詳細な金額、条件は記載のとおりでございます。事業規模といたしましては2,000万円で、予算額は1,000万円、目標を2,000人泊としております。

宿泊施設には可能な限り部屋食対応等をしていただき、感染防止対策を徹底することをお願いしております。

次に、7ページをお開きください。

市内観光バス団体受入施設等支援事業でございます。

貸切バスのキャンセル数は、調査結果で約600件となっており、交通事業者を初め、関係する昼食観光施設も同じく大きな打撃、影響を受けております。

自治公民館総会や、花見、親子レクリエーションなどが自粛されておりますが、島内において一定条件で緩和された段階で、自治公民館、グループ等による島内周遊ツアー実施により外出自粛でのストレス発散、仲間との時間を楽しみ、リフレッシュしていただき利用促進により交通事業者等の維持につながるものと考えております。

バスツアーにおいても感染リスクを抑えるため、密集とならないよう1台当たり20名程度、時間を6時間程度とし、参加者負担を1人当たり1,000円で安価で利用しやすい価格設定としております。

事業規模といたしましては2,250万円、予算額は事務費を含め2,150万円とし、目標を150台としております。感染防止対策も宿泊施設支援事業と同様に行うこととしておりますし、御利用いただく皆様にも御自身もマスク等の着用など、予防対策に努めていただきたいと考えております。

以上で、説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

〔企画振興部長（本田 政明君） 降壇〕

○議長（豊坂 敏文君） 白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

○市長（白川 博一君） それでは、本日提出の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う壱岐市緊急経済対策の取り組み方針につきまして、私のほうから述べさせていただきます。

今回の対策は、感染症拡散防止のため市民皆様には不要不急の外出自粛を要請しております中

で、相反するとも受け取られかねない対策でございますけれども、現在、旅館業、飲食業、貸切バス事業において、存続の危機にあることから、緊急経済対策第一弾として、当初、4月30日以降の取り組みとしたいと考えておりましたけれども、昨日の緊急事態宣言の拡大を受け、5月7日以降の取り組みとして打ち出したいと考えているところでございます。大変リスクが高い取り組みではございますが、まずは市内の経済の活性化を図らなければ持続可能なまちづくりそのものが行えなくなってしまうと思います。どうか御理解をいただきたいと考えております。

今回の対策は、市民が少人数、家族等で飲食店等を積極的に利用することを想定いたしておりまして、利用者だけではなくサービス提供者もその趣旨を十分理解していただき、お客様に対しまして手指消毒及び3密を避けるため、人数制限や換気あるいは椅子の間隔をあけるなどの感染症拡散防止に対する工夫を強くお願いするものであります。

また、市民皆様へは、一旦、島外に出ることとなった場合は、帰島後2週間はこのような支援対象店等をはじめ、公共施設等の利用を控えるなど、その徹底をあわせてお願いするものであります。ただし、あす以降、厳密には本日以降でございますけれども、万一、壱岐市において新たな感染者が出た場合には、この取り組みは直ちに中止することを申し添えておきます。つまり、利用者も事業者も行政も万全の体制でこの経済対策を遂行していきたいと思っているところであります。

先ほど説明いたしましたように、今回の第一段階の壱岐市緊急経済対策は、事業主に対するプレミアムでありまして、今後はこの効果を検証しながら、国の動向とも歩調を合わせ、全体的な対策を打ち出してまいります。

本日の提案につきましては、議員皆様に実施時期、方法論も含め十分御審議いただきこの事業の是非も含め、御判断いただきたく思っております。よろしく願いいたします。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

○議長（豊坂 敏文君） これから質疑を行います。質疑はありませんか。音嶋議員。

○議員（8番 音嶋 正吾君） 今、執行部のほうから提案理由の説明がございました。今回の選挙で選ばれた白川市長も不要不急の要請を市民に強いたので迅速な対応で、いわゆる補正予算を提案をしたという趣旨の発言を述べられました。しかし、それにしては、私は疑問がございます。

これは、あくまでも国が新型コロナウイルス対策の拡大に伴う市町村に対して1兆円の交付をしております。その限度額が配分されるであろう1億4,700万円、国費を投入したのみであります。今現在、執行部と我々の市民の認識も一緒であることは承知をいたしております。非常に厳しい現状に皆が置かれておるわけです。

こういう現状の中で、今、例えるならば、失明寸前の経済を2階から目薬を差すような予算では私は到底できないと思っております。いわゆる観光部門で現在3,125万円、そして商工部

門合わせまして総額3億5,500万円の補正予算が上がっております。しかし、この内訳は、あくまでも商品が完売したときに初めて3億5,500万円であり、国からの補助総額1億4,700万円に過ぎないと、市独自の対策は一向に見られないというのが現状であります。

壱岐市独自の支援策をほかにも考えておられるのか、まず。そして、私、現実的に壱岐市内の皆さんが壱岐市内の旅館に泊まるとか、そういうことがあり得るのでしょうか。仮に感染が疑われた方とか、そういう懸念をされる方以外に、そんなに壱岐の島民の皆さんが壱岐の宿泊施設に泊まることはあるんですか。泊まった場合の2分の1の補助になっております。この場合はなっております。そして、バスツアー、これも5月7日からと言われましたかね、施行は。そして、もし今後の状況で感染症患者が発生する場合は、あすからでもこの議案が成立すれば執行するというお述べになりました。（発言する者あり）言ってない、言ってないですね。

そうした場合、例えばこの予算が成立をします。法の不遡及の原則とありますが、遡及することはありませんね。さかのぼることはありませんね、過去に。今から後に対して例えば宿泊費とか、今まで感染症のためにホテルなんか泊まった皆さんとか、そういう人が多分いらっしゃると思います。その方たちは該当にならないということですね。それで理解していいですか。まず、今までの件に関してお尋ねをいたしたい。かいつまんで申し上げます。

国の緊急対策交付金のみであると今、私は言った件、これ以外には市としての持ち出す金はないと、あるのかなのか、まず、ないと私は考えております。そして、今後、市独自の支援策を考える余地があるのかどうか、その2点に対してお願いを申し上げます。

そして、市民が市内の宿泊施設に泊まることが稀である。どういう場合にこういうことが起こり得るのかなと、私この確かに支援することは必要であると考えているんですね。しかし、実態に合うのかなと。救済はどうにかしてやるべきということは否定もしません。どんどんやるべきだと思います。もっとダイナミックにやるべきと考えております。

以上の件に関して見解を求めます。

○議長（豊坂 敏文君） 白川市長。

○市長（白川 博一君） 音嶋議員の御質問にお答えしますが、私は財源が国の財源だから市が何もしないじゃないかと、それは全く当たらない。私は一般財源を使うよりもいろんな財源を有効に利用して使う。これが市の財政の運営方針であります。

ですから、この3億5,500万円の中で、市の金が入っていないじゃないかと、そういう議論は私は果たして、一般財源を使えということなら一般財源を使っていいわけです。先ほどから申し上げますように、これは第一弾でございますから、第二弾、第三弾を打つときには、一般財源をきつと使わなければならなくなると思っています。それほど今からこの緊急経済対策は充実していかなきゃならないと思っている次第であります。ですから、財源が国の財源だから、市

が何もやってないじゃないかという御指摘は当たらないと私は思っている次第であります。この後、第二弾、第三弾と打っていくということを申し添えておきます。

それから、市内の人が市内の旅館に泊まるのか、なかなかおっしゃるように、なかなかそれは厳しいと思います。でも、私はぜひ家族旅行などあるいは夫婦旅行など計画をしてあったならば、そういったものをぜひ壱岐市で泊まっていただけませんか。市民の皆さん、今こんな窮状にありますよ。皆さんが力を合わせてこういう業界を助けていきましょうよ。そのことをお願いしているんです。ですから普通では泊まらない、でも半額なら泊まってもいいなど、壱岐の旅館がどんなサービスしとるか。そういうことをぜひ市民の皆さんにお願いしたい、泊まっていたきたい。そのことを泊まる、泊まらないということではなくてぜひ利用していただきたい。半分は市が持ちます。お願いいたします。そのことを市民の皆さんに訴えたいと思っている次第であります。

それから、これが遡及するのじゃないかということでございましたけども、先ほどから申しますように、一刻も早くしたいと思っておりました。4月30日からと思っておりました。しかし、全47都道府県が緊急事態宣言になってしまいました。皆さん方も子供たちに言っていらっしゃるかもしれません。私も帰ってくるなど言いました。

そういう中で、やはりこの連休そうは言いながらも、やはり帰ってまいります。そうしたときにこの連休中に、このプレミアム商品券を発行すると、やはり帰ってきた子供と一緒に御飯食べに行こうとなる可能性が非常に強くなります。ですから、あえて私は5月7日以降にこの事業を施行したいと、そういうふうを考えておりますので御理解賜りたいと思っております。

○議長（豊坂 敏文君） 音嶋議員。

○議員（8番 音嶋 正吾君） 今の市長の説明によりますと、今後の推移において、第二弾、第三弾のやはり国費以外の市一般財源による投入も考えざるを得ないというような道筋だけは述べられました。それはぜひとも私は今の状態であれば、やるべき政策ではないかということも申し述べておきます。

そして、家族が帰ってきた場合にもみんなと一緒に飲食店なんかを利用しようじゃないかという状況ですが、いわゆる渡航禁止ですね、例えば渡航して帰ってくるとか、そういうことが非常事態で宣言をされるわけです。宣言をされるわけですよ。なぜされないんですか。そうした折に、本当に実行的な政策になるのかと、私はこの財政支出に関して異論を言っているんじゃないですよ、中身なんですよ、中身ができるかって言っているんですよ。

そしてもう一点、プレミアム商品券、前回、発行した折に、今回は皆さん方かなり経済的に打撃を受けておられます。そうした場合に前回は、壱岐で言うたら富裕層の皆さんがプレミアム商品券を大量に買い占めていたんです。一般の人間はなかなか買うだけの余力がない。

ですから、今検討されておる国の一律10万円給付、そうした後に発行をしないとなかなか買

えない、買うことができない。これは、言い方は悪いですよ。前回のときに買い占めて例えば新益があるからそれをバツと買い占めた人が持ってきたとか、そういう事例があるから、そういうハードルはどのようにして監視していくのか、それは皆さん自由ですから、しかし財力のある人がそれを買えるんですプレミアム商品券というのは。

1次の場合は60%の補助率がある。2次になれば40%に落ちる。そしたら60%の補助率というのは、100円のもの40円出せば買えるわけでしょう極端に言ったとき。私はこういうところの制度の有効的な運用を考えていただきたい。やることは、私は否定はしません。制度の実効的な救済対策、そして商店街の販売促進に寄与するためにやるわけですよ、この事業はね。それが本当に制度の支援の趣旨にのっとって行われるかどうかの監視を十分行っていただきたい、このことを申し述べておきます。

それで市長、前段の答弁をお願いします。

○議長（豊坂 敏文君） 白川市長。

○市長（白川 博一君） 音嶋議員の御質問でございますけれども、このセットは、お一人4セットまでということを申し上げました。ですから買い占めとかそういうことは行われないうことを、まず申し上げておきたいと思っています。

それから、私は帰省客がいろんなお店に行ったら困るということで、この連休中は見送ったということをお願いしました。ですから、本日4時からメッセージを発信いたしますけれども、その中に一部を申し上げますが、御家族や御友人で市外にお住いの方につきましては、本市への帰省や旅行は、これは友人の方がお見えになりますから旅行になるわけですが、可能な限り控えていただくようお願いするというを、本日4時に発信をいたします。

○議長（豊坂 敏文君） ほかに質疑はありませんか。久保田議員。

○議員（7番 久保田恒憲君） 私もこの取り組みは非常にやらなくちゃいけない取り組みだと思っております。ただ、例えば事業者さんが一番必要なのは、早急な資金繰りだと思うんです。例えば、これでプレミアム商品券であったり、いろんな取り組みが効果を発揮するのは、多分、何か月後かというような形になるのではないかと。

そうしますと、現時点でお客さんが来なくて大変な事業者さんにとって早急な資金が要ると、じゃ、その早急な資金をどうかするっていうのは、例えばこの取り組みを考えられるときに商工会さんであったり、金融業者の方であったりと一緒にどのような取り組みをするのかなっていう計画を立てられたのか、その点を伺いたいですよ。

今、原資がなくて事業主さんが苦勞している。ここには別の手当てがあつて行政としてはその手当てをされて、事業者さんが壱岐市の取り組みが発行するまでの間をしっかりと事業として経営がなされていくというような形だったらいいんですが、やはりそうじゃなければ、それこそこ

の取り組みが実行されるころには、もう既に足腰の弱い事業者さんについては、その事業そのものが立ち行かなくなっているというような可能性があるんじゃないかということで、まず取り組みをされるときに、今言いますように別の金融機関とのすり合わせだったり商工会さんとのすり合わせだったりをされた上で、市として一番先に取り組めることを取り組まれたのかどうかという、この点をお尋ねしたいと思います。

○議長（豊坂 敏文君） 白川市長。

○市長（白川 博一君） 久保田議員の御質問でございますけれども、既に過去2回の市内の緊急経済対策会議を開いております。そういった中での御意見をお聞きして、これはつくったものでございます。

そういう中で、今おっしゃるように、実は第3回を月曜日20日に行うようにいたしております。その中で、今おっしゃるように例えば、利用は1カ月、2カ月後ですと、でも前払いでやるよとか、そういった御意見も出てくるかと思っています。

私は、市内の各事業者さま、各経済団体の方々のその御意見を十分お聞きをして、この予算を可決いただいたならば、柔軟に対応していきたいと思っております。おっしゃるように、この経済対策は今、本当に大変な事業者を市民の皆さんが力を合わせて助けないと、今から将来的にこれが落ち着いたときに、「さあ、観光の島壱岐にいらっしゃい」そのときに旅館はないよ、飲食店はないよ、これじゃ困るわけです。ですから、ぜひ、今の観光関係の事業者の方には踏ん張っていただきたい。頑張ってください。そのためには市民皆さんもぜひ協力していただきたい。

やはり、今から壱岐は観光でやっていかなきゃいけないと、私はずっと思っておりますし、これは間違いないと思っています。ですから、そのときに受け入れ態勢がなくなってないとうしようもないわけです。市民の皆さんにぜひお願いしたい。今、この観光関係の事業者の皆さんを、力を合わせて助けていただきたい、お願いいたします。

○議長（豊坂 敏文君） 久保田議員。

○議員（7番 久保田恒憲君） 対策会議の中ですり合わせをされているということがわかりましたので、市としての取り組みは進めていただきたいと。

それから、私もきのう長崎新聞にこの雇用調整助成金など出ていたので、これすぐにでも使えるのかなと思って問い合わせをしたら、国もまだその詳細なところはわかってないし、県としても、これはまだすぐに取り組める、すぐに出せるものではないというような返事をいただきました。

そこで先ほど言いましたように、緊急性として壱岐市としての何か手立てがあるのかなっていうこともお伺いしたわけです。国が1人当たり10万円、多分、これはもう間違いないと思いますので、この10万円がもう出ると仮定して、私たちもその10万円が出てからでは、それこそ

お店の人への助けにもならないので、10万円が出ることは間違いないので、もう早めにその10万円を使ってでも壱岐市の事業者さんの手助けになるような自分たちの行動をしていければと思っております。

宿泊に関しても、ここを見ますとこの宿泊は市職員が主としてやってくださいみたいを書いてあるけど、そうじゃなくて、それは全公務員でもいいじゃないですか、そういう意味ではやはり一番どこも味わったことがないこのコロナに対しては、私たちも本当に身を切るつもりで支援をしていかなければならないと思っておりますので、そういう面では執行部との気概は一致していると思います。

以上です。

○議長（豊坂 敏文君） ほかに。中田議員。

○議員（12番 中田 恭一君） 今、市長の答弁聞いていますと、市長の一所懸命な気持ちはわかります。私も同じでございますが、あくまでも国は緊急対策でございます。今、久保田議員、音嶋議員が言われたように、本当に即効性があるのかというのが非常に心配です。僕は、これはもう先ほど説明があった2段階、3段階目の事業かなと思います。1段階目はもっと即効性のあることを考えていただいたらいいかと思っておりますけども、正直言うて、今、私にも知恵がございません。ただ、緊急経済対策会議ですかね、その中でこういう意見も出たでしょうが、本当に急ぐ、先ほど言われた腰の弱い業者は倒産寸前でございます。

おまけに、このプレミアム商品券を買いたくても、もう今、お休みで無給でお休みで、もう生活費も一所懸命という方々がおります。ある程度収入も減らずに余裕のある方は応援をして島内に宿泊という形もあるとは思いますが、今、これだけコロナの問題で心配している中で、なかなか皆さん行けないと思うんですよ。壱岐の中からコロナを出したら、正直言うて、壱岐の人はすぐうわさで広がってしまいます。みんな怖いんですよ、正直言うて。家から出ないのが、今、ほとんどふえておりますし、もうちょっと緊急性のある即効性のあるやつが何かないかなと思って、その辺を私も知恵出しておるとですけど、なかなか国みたいに10万円金があるなら、市にも金があるなら現金をそのまま大変なところに配ったほうが一番早いんですけども、それだけが即効性があるとは思いません。

もう少し我々も考えたいと思いますが、もう少し即効性のある何かを、使い方を1億4,000万円、5,000万円ですかね、ないかなとその辺を、ぜひ経済対策会議などで意見を聴取して、ぜひこういうのが急ぐというふうに先に使っていった方がいいと思いますし、これは第二段階、第三段階になればこういうのは十分効果はあると思いますが、その辺のお考えは……。

○議長（豊坂 敏文君） 白川市長。

○市長（白川 博一君） 実は、今ですから申し上げますが、私は3月にこの予算を組みたいとい

うことで、部内で調整いたしましたし、ご相談もいたしました。今、どうしてこの時期に議会を開いてそういうことができるかと、お叱りを受けて、やむなく本日までこの提案を延ばしたという状況でございます。

そういった中で、まさに中田議員がおっしゃるように即効性について疑問があることも事実であります。しかも、私は5月7日からと言っております。これは、やっぱり社会情勢を見たときに、やはり5月7日と言わざるを得ないと、苦しい、本当に苦しいんですね。でも、それは仕方ないだろうと、やはり経済よりも命だという、今、もちろんそういうふうに思いますから、非常に苦しいわけです。

ぜひ、今、中田議員もなかなか知恵がないとおっしゃいましたように、即効性のある施策、どうぞ皆さん方、これはいいぞと、きょう言いますように実施時期、内容、方法論、そしてまた、この事業の是非も含めてぜひ議員の皆さん方に考え、御意見を賜りたい。そして、これが壱岐市の本当に緊急経済対策だと言えるものにしていきたいと思っております。

私は、今回の予算はそういったプレミアム商品券あるいは旅館の宿泊とかだけ出しておりますけれども、本日あるいは喫緊のいいアイデアがありましたら通年議会でございます。いつでも議会を開いて新しい施策に取り組みます。よろしく申し上げます。

○議長（豊坂 敏文君） 中田議員。

○議員（12番 中田 恭一君） 市長の考えも悩むところも十分わかりました。

我々も一所懸命検討して考えて何かいい方策があれば提案をしたいと思えますし、20日にその緊急経済対策会議があるのであれば、もっと突っ込んで詳しい即効性のある案をいただいて、例えばこの予算を通しても今度予算の金額は変わらず利用、使用の方法を変えとかいうことも議会の中で開けばできると思えますので、その辺を考えながら、我々も一緒に考えてはいきたいと思えますけれども、ぜひ即効性のある使い方をしていただきたいと思っております。

以上です。

○議長（豊坂 敏文君） ほかにありませんか。山内議員。

○議員（3番 山内 豊君） 新型コロナウイルスの経済対策に関しては、いろいろなお話がありますが、賛成の立場でちょっと中身を詰めて行きたいと思っております。

ただ、プレミアム商品券に関してちょっと御質問をさせていただきますけど、窓口がまず商工会ということ、その商工会に関してはもう了解をもう得ているのかということ。今、いろんな助成金があつて結構、業務量も膨大で大変忙しいという時期になっておりますので、その辺の説明と。あと商品券によく言われるのは額面どおり使えないと、換金手数料が必要になってくるといこと、換金手数料もプレミアムなのかとそういうことと、全てが飲食店とか宿泊に特化してやられていますが、キャッシュアウトをすると、そのまま現金が入ってくるまでの猶予期間とか

っていうのもはっきりわかれば、そういうところも教えていただきたい。そこで、即効性があるのであればもう大賛成します。その辺の調整もぜひお願いしたいなと思っていますし。

あと飲食に関しては、最近、テイクアウトのほうが結構頻繁に盛り上がってきていますし、テイクアウトはテイクアウトでいいんですが、やはり飲食と言われるがために、飲のほうの利益率のほうが高くて、お店屋さんというのは、そこでこの利益は固定費にとか、この利益は人権費にとかっていう分配をされている事業さんもおられて、そういうところでやっぱり時期的に、なかなかお店に行けないとかっていうのがあると思うんですよ。

ここはやっぱり市長の5月7日からという気持ちもわかりますし、ただ、どこから我々もやっぱり頑張っているんであれば、行って飲食をしたいわけですね。ただ、そこはなかなか自粛要請が出ているから行きづらいというところがあるから、食のほうに回ってテイクアウトをすると。そういうところの調整具合が壱岐島内の感染の終息が見込めるんであれば、そこでトップダウンで市長が言われてちょっと応援に行きましょうとかっていうのができるかどうかということをお尋ねしたいと思います。

○議長（豊坂 敏文君） 本田企画振興部長。

○企画振興部長（本田 政明君） 山内議員の御質問でございますが、この商品券につきましては、商工会と事前に相談をしております。

それから、換金手数料につきましては、通常の商品券は利用されたところが2%を支払うわけですが、今回につきましては市のほうで負担するようにしております。あと、振り込みの件ですが、商工会に換金に行かれますと、3日後に一応振り込むということで商工会とは調整をしております。

以上でございます。

○議長（豊坂 敏文君） 山内議員。

○議員（3番 山内 豊君） 素早くスピーディーな形でもう話をされていると安心しました。

もう一つ、今現在、壱岐市商工会が発行している商品券もいろんなところに流通ができます。今回に関してはこれ宿泊業と飲食業限定だとは思いますが、もう緊急事態ですから、壱岐市商工会が発行している商品券もできれば換金手数料の2%を追加補正でどうにかできないかというのはあります。これ、商品券というのは小店さんがずっと持って回られる分なんですよね。

ただ、もうデメリットもあって、やっぱりどうしても、もらったら換えにいくなら手数料はかかると、キャッシュアウトするなら手数料かかると、もう次に使えば額面どおりで使える。こういう悪循環もあります。今現在、はっきり言って経済的に緊急事態ですから商品券も、できれば換金手数料を追加補正でどうにかできるのであれば、ぜひ緩和していただきたいと、よろしくお願ひします。

○議長（豊坂 敏文君） 白川市長。

○市長（白川 博一君） 山内議員の一般の今の商工会の手数料も見てくれないかという御質問でございます。

今回は、先ほど言いますように業種を特定してプレミアム率を高くしております。でも、いわゆる今回は一般消費の商品券は出していないわけですね。これは私、今きつと近いうちに全国的に国の方針できつと売り出されると思っておったから、それを今回は出していないわけでございますけれども、山内議員のおっしゃることも考えないけないんじゃないかと思っております。時間をいただきたいと思えます。前向きに検討いたします。

○議長（豊坂 敏文君） 山内議員。

○議員（3番 山内 豊君） 緊急事態です。ぜひ前向きに御検討いただきたいと思っております。

あと、島内に泊まるというのは私、妻に相談して泊ってみようじゃないかというふうなことは言いました。というのもやっぱり子供たちも、私3人子供がいるんですけど、学校が休業状態で結構ストレスがたまっていると、いろいろ島内を回るときにこういうとこどうなんだろうなとかというとこで泊まってみたいなという気持ちはございます。これに関しては賛成しますが、先ほどランク分けをされてありましたが、これはもう宿泊業者の中を全てランクで振り分けてあるんでしょうか。それとも、例えばのAランクからDランクという意味なんでしょうか、その辺をお願いします。

○議長（豊坂 敏文君） 企画振興部長。

○企画振興部長（本田 政明君） ランクにつきましては、宿泊業者からそのランクを選んでいただくようにしております。

以上でございます。

○議長（豊坂 敏文君） 3回で、もう一回許します。

○議員（3番 山内 豊君） 議長、済みません、緊急事態なので3回と言わずにちょっとこの質問はつけ足していただきたいと思えますが、よろしいでしょうか。

○議長（豊坂 敏文君） ほかの人がよかったら。

○議員（3番 山内 豊君） わかりました、済みません。

ランク分けされているのであれば、上限が6,000円ということなので、安いところから1万2,000円のところもあると思うんですが、勝手に泊まりに行けるのか、それともどっか経由しないといけないのかというのがちょっとわからないんですよ。ランク分けしているならば、半額出すならちょっと高いところに泊ってみようかとかっていうお客さんがいたら、下のランクの方のところには泊まらなくなるんです。その辺で優劣が出てくるし、全て助けようぜっていうんだったら、割り振りは全体的に及ばないと恩恵は受けないと思えます。泊まらないとこ

ろも出てくると思うんです。泊まるところばかりで、そういうところの兼ね合いとかはできてあるかないか。そこも大事だと思いますけど、これで終わりますけど、よろしくお願いします。

○議長（豊坂 敏文君） 本田企画振興部長。

○企画振興部長（本田 政明君） ランク付けにつきましては、先ほど申しましたように各宿泊業者から自分のランクに合わせて提出をしていただくようにしておりますし、やはり市民の利用の皆様もいろんな、選ぶのも利用者なので、そこをなかなか振り分けることは難しいと思います。サービスがいいところにやっぱり市民の皆様も利用できると思いますので、そこは事業者のほうで、さらにおもてなし等につきまして協力願えればと思っております。

○議長（豊坂 敏文君） ほかありませんか。鵜瀬議員。

○議員（11番 鵜瀬 和博君） 今回、緊急な経済支援対策としてプレミアム商品券の発行をされるわけですが、そこでお尋ねをいたします。

本日、可決をされた場合、今後の販促のための計画についてはどのようになっているのかお尋ねいたします。先ほど山内議員のほうからもありましたとおり、宿泊施設のランク分けについても現状ではわからない状況でありますし、そのチラシ、販促について、どのようになっているのかお尋ねをいたします。

また、宿泊並びに飲食に特化した今回のプレミアム商品券となっておりますが、ぜひ壱岐産の地場産品の活用をしていただきたいと、お土産屋も大変な状況でありますし、壱岐牛や干物、野菜等もぜひその料理の中に入れていただいて、壱岐を知っていただくいい機会としていただければと思います。

また、現在こういう状況でありますので、民間が立ち上がりまして今「いきめし」事業というのを、テイクアウト事業をされておりますけども、この国の制度の中にG o T oキャンペーンというのがありますが、この「いきめし」をさらに販促拡大するためにこのキャンペーンの活用はできないのか。また、今後、飲食店におかれましては新たにテイクアウトをしたいというところが出てきた場合に、その財政というか、移行支援等についてどのように考えているのかお尋ねをいたします。

市長の答弁では、この後、第三段階、四段階と経済対策を打っていくと言われております。今回は、言われますように宿泊と飲食に特化した商品券であります。今後、10万円が支給される場合において、島内の事業者についてはかなり打撃を自粛により受けておりますので、その対照品を例えば通常の日用品も含めた部分に拡大してはと思いますが、今後、検討の余地はあるのかどうかお尋ねをいたします。

また、先ほど、同僚議員からも出ておりましたけども、国・県においてはさまざまな資金繰り支援、そして持続化給付金等を開設をしておりますけども、先ほどからも話があったとおり、申

請後なるべく早めに事業者へ納付する予定となっておりますが、現時点では早くとも5月、6月となっております。

市内の事業者においては、入金までの期間の経営維持が非常に厳しいと聞いております。4月20日に第3回の緊急経済会議が開かれて、その中で協議されると思いますけれども、市として今回の緊急経済対策のほかに、きのうも全県に緊急事態宣言が発令された今、さらに自粛は拡大となり、ぜひつなぎ資金として家賃や事務経費等財政的支援ができないものか、早急に制度設計の策定をお願いしたいと思います。

一方、このような経済対策も実施しつつ、引き続き感染防止策を怠ってはならないと考えております。経済・医療圏にあります福岡市は緊急事態宣言発令後も依然として減少の兆しは見られず、多くの感染者が確認をされております。やはりさらなる水際の感染防止策が重要と考えますが、九州郵船はまだ検温システム等を設置されておられません、今後の予定についてお尋ねいたします。

また、今回対象となっております各飲食店、宿泊施設の消毒等感染拡大防止についても支援すべきと考えておりますが、このことについてお考えをお聞かせいただきたいと。

もう一点は、万が一、今回のキャンペーンによって感染者が発生した場合、そうした場合の支援についてはやむなく2週間程度その店も休まないといけませんが、そういったときの支援、あとは保険等があるのかどうか、あわせてお尋ねをいたします。

以上、質問件数が多いですが、的確に御答弁をお願いします。

○議長（豊坂 敏文君） 本田企画振興部長。

○企画振興部長（本田 政明君） 鵜瀬議員の御質問にお答えをいたします。

周知につきましては、本議会議決後、速やかに回覧板、ホームページ全ての方法によって周知をしたいと考えております。

それから地場製品の活用につきましては、これはもちろんのことでございますので、宿泊施設に要望をすることとしております。

「いきめし」のG o T oキャンペーン等の実施でございますが、この「いきめし」のテイクアウトにつきましては、今プレミアム商品券も使用可能としておりますので、その辺で活用していただければと思います。現在、プレミアム商品券は宿泊、飲食業に特化しておりますが、一般消費の活用につきましては、第二弾で今後の情勢を見ながら検討をしたいと考えております。

消毒液につきましては、このキャンペーンの実施する宿泊施設、バス等につきましては、消毒液を現在調達しておりますので、調達次第、各事業所には配布を予定としております。

保険等につきましては、バスの利用につきましては保険に加入をしております。

私の範囲では、以上でございます。

○議長（豊坂 敏文君） 久間総務部長。

○総務部長（久間 博喜君） 私のほうから水際対策について回答させていただきます。

3月24日に壱岐市航路対策協議会を開催をいたしまして、九州郵船、ORC、壱岐・対馬フェリーに水際対策として、乗客の体温検査の実施をお願いしたところでございます。

九州郵船の対応としましては、既に運輸局との確認を終え、検温機器が納入され次第、乗船者全員の検温検査を実施すると連絡を受けております。なお、実施する港につきましては、壱岐市航路対策協議会からは博多港、唐津東港での実施を要望しておりますが、唐津市から印通寺港の実施の要望もあつているとのことでございます。検温機器は来週からでも開始をしたいとお聞きをしております。

ORCにつきましては、長崎空港ビルディングに委託をして、サーモグラフィ設置及び検温を行う準備をしていると報告を受けております。

以上です。

○議長（豊坂 敏文君） 鵜瀬議員。

○議員（11番 鵜瀬 和博君） 今回の第一弾の経済対策につきまして、市民の皆さんの利用が図られることを大変期待をしていますし、私をはじめ使わせていただきたいと思っておりますけれども、先ほど市長が言われましたが、家族旅行に行けない方とかも含めて利用していただきたいということで、集中的にキャンペーンを打って、ぜひJR九州さんとかがされているようなフルムーンや記念日とかそういうのをどんどん活用して、それに合わせて宿泊の方々も協力してキャンペーンを打っていただければさらに利用促進になるんじゃないかならうかと思っておりますし、一つの思い出づくりをしていただいて、収束した後はそれぞれがその旅館のPR隊としていただけるように、それぞれの施設においても十分なサービスの対応をお願いしたいと思っております。また、壱岐産品の活用につきましては、率先してぜひ使っていただきますようお願いをしたいと思っております。

また、先ほど話がありました、つなぎ資金の制度設計の策定については、今度4月20日に行われます緊急経済対策会議においても、そういった御意見も出るだろうと思っておりますので、今後、ぜひ積極的に早めの制度設計をお願いして、私の質問を終わります。市長の答弁を。

○議長（豊坂 敏文君） 白川市長。

○市長（白川 博一君） 先ほどの鵜瀬議員の御質問の中で、そのつなぎ資金の問題が出ておりますけれども、これについては、なかなか市単独というのは非常に厳しいかと思っておりますけれども、市がとれるものは何かというとやっぱり税の徴収猶予であったり、固定資産税の軽減であったりということだと思っておる次第であります。そういった点についても、しっかりと研究してまいりたいと思っております。

また、この実施についてアニバーサリー、記念日等々に、ぜひ壱岐の旅館に泊まりませんかと

かいうキャンペーン、いい御提案だと思いますし、そういうふうにしていきたいと思っております。

○議長（豊坂 敏文君） 鵜瀬議員。

○議員（11番 鵜瀬 和博君） 今週中に検温システムが各港、そして空港に設置されるようであります。これからも3密を避けて我々も自分で自己防衛という形でしていかなければならないと思います。

このコロナウイルス感染拡大につきましては、終点がまだ見えておりませんので、ぜひ今後とも一緒に全島一丸となってその対策について取り組んでいくことを期待をしております。それでは終わります。

○議長（豊坂 敏文君） ここで暫時休憩します。再開を12時に予定します。

午前11時22分休憩

午後0時00分再開

○議長（豊坂 敏文君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

質疑ありませんか。町田議員。

○議員（10番 町田 正一君） 今回の分は緊急な落ち込みが激しい観光インフラの維持ということで、市長が言われるように、このコロナが収束したときに、それこそ市の宿泊施設とか飲食業が壊滅状態だったら、これはもう「何をか言わんや」なので、今、市長が思われているのはとりあえず目先の観光インフラを何とか維持したいという思いで、これ出されたと思うんですよ。

ただし、この1番目は、僕はこういった形は直接給付だと思っているんですよ。これは全国の自治体もどこもやっています。

2番目に、今後、多分第二弾、第三弾という形で出されると思いますけども、それについては、また早急に計画を出してもらいたいんですが、僕ちょっと一つ提案なんですけども、特に一番問題は飲食業については、もうこういう形のプレミアム付商品券を出す以外に救済のたぶん方法はないと思うんですよ。ただし、宿泊業については、僕、市長、思うんですけど、今全国、東京もそうなんですけど、コロナ対策という名目で市の宿泊ホテルを借り上げていますよね、ほかの自治体も。例えば、もちろん第一義的には療養にしろ、PCRの検査、離島などで時間がかかりますけど、それまで待機してもらおう場所にする。自宅は無理なんで、その間、第一義的には市の宿泊施設です。これは市の施設が一番最初に全面に立ってやるのが一番だと思うんですが、2番目に、僕、条件をつけて市内のこういった民宿とかホテルとかそういったところを、これ全部借り上げたら大変な金額になりますので、例えば宿泊施設の50%を市が当面、このコロナのこれが収まるまで借り上げると、その部屋を。というような方策はとれないんでしょうか。

僕は、それが一番このコロナ対策には、正直言って使わなかったら一番いいんです、それが。空振りがこういう緊急事態には、こういった緊急事態的な方策をとらないといかんと僕は思っています、50%の部屋数を行政がこうやって確保してくれたら、これはかなりホテル側にとっても非常に有効な措置だと思うんですが、そういった対策は議論をされたことはないですか。僕は、ぜひそれを実現してもらいたいと思うんですが。

○議長（豊坂 敏文君） 白川市長。

○市長（白川 博一君） 町田議員の御質問にお答えいたします。

市内のキャパが、これ確定ではございませんが約2,500ぐらいだろうと言われております。その中で個室とか多客室がございます。そういった中で、今、町田議員の提案のように、いわゆるコロナの軽症者の待機ホテルとして借り上げる、それは方法論としては、まさにある意味カンフル剤ではないかと思えます。

ただ、その時にこれは具体的な話になりますけれども、例えば素泊まり幾らということになって、その分を確保すれば金を払わないといけんわけですね。その金銭的なもの、それから財源的なものを考えなければいけませんけども、これは町田議員の御提案は一考に値すると思っております。

○議長（豊坂 敏文君） 町田議員。

○議員（10番 町田 正一君） 今、僕は50%と言いましたけど、要するに今は、例えば雇われている人は雇用調整助成金は90%まで補助なんで、今度アドバイザーもそれを速やかに手続きするために、予算つけて雇われるということなんで、こういうのは非常に素早い対応だと思うんですよ。

壱岐の中で自営業者がそういった雇用調整助成金の申請までと言ったら、非常にお役所仕事はなかなか時間と書類がかかって面倒くさいんで、こういった形でアドバイザーをもう少し予算をつけてアドバイザーをもっと雇って、どんどんどんどん相談窓口をもっともって専門的にやってもらったほうが、もっといいと思うんですが、例えば5割が無理だったら3割でも、直接補助する以外に正直言って方法はないと思っているんです。もう第一段階は直接補助ですよ。第二段階で、さっきも言ったようにプレミアム付商品券とか、鶴瀬議員が言ったある程度アピールして家族旅行でやるというのは、もう第一段階は今、市長が言われたように本当にこれ収束した後、ホテルが潰れておったら、宿泊場所がなかったら観光の島もへたくれも何もないんですよ。

それ、市長の危機感が僕は非常にわかったから、それだったら、できるのだったら30%でも40%でもいいですよ。その宿泊場所を市が一泊幾ら、僕は例えば夜、今度コロナ対策で市役所の職員は夜遅くまで、12時近くまで多分、連日対応されたと思います。そういった職員がそこに泊まって朝晩そこで市の食材を使って料理してもらってもいいと思っているんですよ。それは

職員が泊まってもいいと思っています。

非常事態だったら、非常なりの対策をぜひ打ち出してもらいたい。今度、緊急経済対策会議もあるみたいですけども、ぜひ行政のほうから直接もうやると、現実こういうふうな対応をするというような形で僕は提案させていただきますので、ぜひその場で検討していただきたい。基本的にはコロナの患者のために、風評被害もありますから使われんのが一番ですが、市のほかに施設もいっぱいありますので、多分、利用されることはないと思うんですが、職員の夜遅く、連日の職員の待機場所とか、そういうことのために何か名目をつけて、何らかの形で対応が僕はできるんじゃないかと、それこそが緊急な対策だと思います。あとは市長の判断だけなので、あとは財政との絡みでどこまでできるかというのは、もちろん早急にそういう結論はできないと思いますけども、そういったこともぜひ僕は考えるべきだと思います。しかも大義名分がつきます。ぜひお願いします。

○議長（豊坂 敏文君） ほかにありませんか。植村議員。

○議員（4番 植村 圭司君） 今回の提案に対しまして、これは経済の活性化ということで理解をしているわけなんですけども、そもそも今3月時点から既に消費が落ち込んでいまして、お店の収益が上がっていないというところが結構あります。

それで、活性化の話ではありますが、それ以前に、まず今時点で店舗の維持とか店舗の経営の継続、これがまず困っている方がいらっしゃると思うんですね。それに対する措置というのが、今回、私、出てくると思っていたんですけども、さっき言われた固定資産税の減免とか言う話ができるのであれば、私はすぐにでもやったほうがいいと思うんですね。これが出ると思っていたんですけど出なかったというところが、少し残念に思っておりますけども、これは第二弾を期待しておりますので早急をお願いをしたいというふうに思っております。

今回の第一弾につきましては、賛成ということでいいんですけども、第二弾は早急にやっていただきたいというお願いをしたいと思っております、その中に光熱費とか従業員の給料とか、最低限の給料を払わないといかんとか、あとは支出が出ているところがありますので、その辺の国としては持続化給付金というのを準備しているようでありますから、そういったものを担保として借りるなどの方法であるのがいいと思うんですけども、そういうことができないのか。

また、さっき家賃の補助はできないというお話だったんですけども、全額でなくても家賃補助を半額もしくは多少なりともやるということもしないと、維持ができないんじゃないかというふうに思うんですけども、いかがでしょうか。

○議長（豊坂 敏文君） 眞鍋副市長。

○副市長（眞鍋 陽晃君） 植村議員の御質問の中で、税等について、それからまた住宅料、それから市は上下水道があるわけですけども、そういうものにつきましては既にホームページのほ

うで相談を受け付けるということで示しております。

そして、また事業者については放送でも市長が申し上げておりますように、商工会等でやっていただいておりますし、今回の新たな事業も人材の確保もいたしておりますけれども、そういうものについて相談窓口を設けて既にやっておりますので、市でできることは既に取り組んでおりますので、ホームページ等で確認いただければというふうに思っております。

○議長（豊坂 敏文君） 植村議員。

○議員（4番 植村 圭司君） わかりました。固定資産税の件などにつきましてはできるものがあると思いますので、そういったものをもういっぺん確認していただきまして、第二弾のほうを早く手を打っていただきたいと思います。ということで、お願いをして終わります。

○議長（豊坂 敏文君） ほかありませんか。小金丸議員。

○議員（9番 小金丸益明君） お尋ねというか要望ですけども、この商品券の販売、そして回収換金の作業は商工会のみということでございますが、回収して換金は商工会、持ってくるほうは商工会員がほとんどじゃないかと思ひますし、いいとしてプレミアム商品券を買うのは一般住民でございます。ですから、できれば売るだけでも各支所、4支所の窓口を使ってさばけないかと、そのほうが住民に近いんじゃないかと思ひますが、御検討できるかできないか。

もう一つは、今回の緊急対策は飲食業に特化してということで周知をされております。先ほど来、少人数で行けばいいんじゃないかとか、家族で行けばというようなお話ですけれども、一つの店に3人家族が5組行けば15名、4人が5組行けば20名が一つの店に集まる可能性もありますので、できれば、この飲食業界の方々に改めて3密の防止とか、衛生管理の徹底を市から指導してもらった上でプレミアム商品券の有効利用につながるように、改めて指導をお願いしたいと思ひますが、その2点、御回答お願いします。

○議長（豊坂 敏文君） 白川市長。

○市長（白川 博一君） 小金丸議員の御質問でございます。

まず、第1点目の商品券の販売窓口を4支所でどうかということでございます。これについては、当然、現金を扱いますけれども出納の係がおりますので可能であると思ひております。すぐ検討をしたいと思ひてます。

それから、5人でも3グループ行けば15人じゃないかという御意見、これは先ほど挨拶で申しましたように、利用者の方はもちろんでございますけれども、事業者の方がまさに挨拶で申しましたように人数制限、あるいは換気あるいは椅子、座席を2メートル以上離すとか、そういったことを事業者の方にさせていただかないと、お客が来たら全部受け入れるということでは、これはやっぱり3密につながるわけです。

ですから、小金丸議員御指摘のように、20日の緊急経済対策会議もそうでございますけれど

も、各業界にそれを強くお願いをしないと、せつかくの経済対策も元も子もなくなってしまう。十分、そのことを配慮して指導していきたいと思っております。

○議長（豊坂 敏文君） ほかに質疑はありませんか。市山議員。

○議員（13番 市山 繁君） 大概意見は出ておりますけれども、市長が冒頭に言われたとおり不要不急の要請の中で、逆行するようでございますけれども、その中で今回のプレミアム商品券の発行は、先ほど小金丸議員が話があったおりましたように、飲食サービスの特化商品券ということでございますけれども、今、自粛をして休業しておるところ、そしてまた、やむなく休業した人もおられるわけですが、その方たちにはこれは決定するとオープンしてようございますよというような通知はされるのかどうか、それが1点。

それから、今度は宿泊のことでございますけれども、対象施設の数、まあ、民宿、ホテルここに上げてありますが、どのくらい壱岐にはあるのか、それが2点目。

そして、その次には利用促進のところで、市の職員が率先して利用するように奨励をするということでございますが、これを決定すると職員に奨励して宿泊するように促進されるのかどうか。そして、そういう利用があるときは、職員については平日はなかなか無理でしょうから、土曜、日曜、祝日となるわけでございますけれども、ほかの家族も子供ずれで宿泊しようということになりますと、やはり土曜、日曜、祝日が多いのではないかと。

そして、民宿のその利用のランクについては、きれいなところに泊まりたい、安いところ民宿に泊まりたい、いろいろとあるわけですが、その平等性についてはどう考えているのか、その3点、まずお願いします。

○議長（豊坂 敏文君） 本田企画振興部長。

○企画振興部長（本田 政明君） ただいまの市山議員の御質問ですが、自主休業をされているところが、また再開される場合ということですが、それは事業者の判断によるものと考えております。

次に、宿泊施設の対象施設ですが、現在48施設が対象となるということで調査をしております。

あと、利用施設の平等性でございますが、これ先ほど山内議員のほうからも質問があったと思っておりますが、やはり利用者が選ぶということでございますので、その辺は利用者の選択に任せたいと考えております。

あと、職員の利用は奨励しますが、職員につきましては土曜、日曜ではなくても、平日でも利用可能と考えておりますので、その辺は予約制によりまして判断されるものと考えております。

○議長（豊坂 敏文君） 市山議員。

○議員（13番 市山 繁君） 商店の待遇については、その個人の判断ということでございま

すけれども、通知はされるわけですか。こういうことで商品券を発行して、その飲食店のサービスの特化ということは連絡はするわけですか。そして、職員は土曜、日曜でなくても平日ならなおいいわけですが、そういうふうな奨励をされるのかお尋ねをしておるわけです。

それから、5月から7月までの3カ月間で約2,000万円ということでございますが、1カ月でこれが消費できれば2,000万円ですけれども、3カ月だったら月700万円しかならないわけですが、700万円を48施設に平等にした時に、何十万円しかならないわけですが、その点はどういうふうな考えをしておられるのでしょうか。それとも利用者によって違うわけですが、その判断について。

○議長（豊坂 敏文君） 本田企画振興部長。

○企画振興部長（本田 政明君） プレミアム商品券の周知につきましては、自主営業をされている個々には周知はいたしません。全体的に市民全てに周知をする予定でございます。職員への奨励につきましては、改めて職員には奨励をするようにしております。

あと3カ月の利用期間でございますが、その辺につきましては各利用者の判断によるものと考えております。

○議長（豊坂 敏文君） 市山議員。

○議員（13番 市山 繁君） そうすると、1カ月でそれだけ消費すればいいわけですが、早く消費すれば、また追加を出されるわけですか。消費が早く済めば。

○議長（豊坂 敏文君） 本田企画振興部長。

○企画振興部長（本田 政明君） 現在、3カ月で利用をされるように検討をしておりますが、利用が早まって売り切れる状態になれば、さらに活用していただけることはうれしいことですので、その辺はさらに追加を検討したいと思っております。

○議員（13番 市山 繁君） わかりました。終わります。

○議長（豊坂 敏文君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（豊坂 敏文君） 質疑がありませんので、質疑を終わります。

お諮りします。議案第29号については、会議規則第37条第2項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（豊坂 敏文君） 異議なしと認めます。よって、議案第29号については委員会付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（豊坂 敏文君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第29号を採決します。この採決は起立によって行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（豊坂 敏文君） 起立多数です。よって、議案第29号令和2年度壱岐市一般会計補正予算（第1号）は原案のとおり可決されました。

以上で、予定されました議事は終了しましたが、この際、お諮りします。

4月会議において議決されました案件について、その条項、字句、数字、その他の整理を要するものにつきましては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（豊坂 敏文君） 異議なしと認めます。よって、そのように取り計らうことに決定いたしました。

_____ . _____ . _____

○議長（豊坂 敏文君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

これをもちまして、令和2年壱岐市議会定例会4月会議を終了いたします。

本日は、これで散会いたします。お疲れさまでした。

午後0時22分散会

地方自治法第123条第2項の規定により、署名する。

令和 年 月 日

議 長 豊坂 敏文

署名議員 小金丸益明

署名議員 町田 正一

壱岐市議会委員会委員選任名簿

総務文教厚生常任委員会（定数：8人）

◎委員長	鵜瀬 和博	○副委員長	久保田 恒憲
	中原 正博		山内 豊
	植村 圭司		赤木 貴尚
	小金丸 益明		市山 繁

産業建設常任委員会（定数：8人、欠員1名）

◎委員長	土谷 勇二	○副委員長	牧永 護
	山川 忠久		清水 修
	音嶋 正吾		町田 正一
	中田 恭一		

議会運営委員会（定数：6人）

◎委員長	小金丸 益明	○副委員長	音嶋 正吾
	土谷 勇二		鵜瀬 和博
	市山 繁		牧永 護

議会広報特別委員会（定数：8人）

◎委員長	植村 圭司	○副委員長	山川 忠久
	中原 正博		山内 豊
	清水 修		久保田 恒憲
	町田 正一		中田 恭一

国境離島活性化推進特別委員会（定数：7人）

◎委員長	赤木 貴尚	○副委員長	市山 繁
	土谷 勇二		音嶋 正吾
	小金丸 益明		鵜瀬 和博
	牧永 護		